

障害者支援施設 皆生やまと園

1 基本方針

「尊厳の保持」をサービス提供の基本とし、利用者が健康で生きがいを持ち、安心して生活できるよう支援を行うとともに、地域生活への移行を積極的に推進する。

また、地域住民等との連携強化や情報公開等による透明性の確保を図り、真に地域に信頼される施設となるよう努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 利用者への専門的支援の充実

ア 意思決定支援の促進

利用者が生活や活動場面等において自ら選択ができるよう、わかりやすい方法で情報や選択肢を提供して意思決定を促進するとともに、選択した内容を実際に行動できるよう支援する。

イ 個別支援の充実

利用者の意思を尊重した個別支援計画（意思決定支援計画）に基づき、能力や障がい特性に応じた適切な支援と介助を行い、自立支援及び生活の質の向上を図る。

日中活動体制の見直しを検討し、利用者個々のニーズに沿った活動の提供とサービスの質の向上に努める。

アート活動、スポーツ、外出等を余暇や日中活動に積極的に取り入れ、自己実現や社会参加の促進を図る。

ウ 行動障がい者への支援

外部の専門職や医療と連携しながらケース検討会を定期的で開催し、構造化、応用行動分析等の手法により、利用者の不適応行動の軽減を図り安定した生活が出来るよう支援する。

積極的な研修参加や事例検討会等により専門的知識の向上に努める。

エ 高齢者・病弱者への支援

定期的に専門職による機能評価を実施し、生活リハビリや介護技術の助言を受けながら、日々の生活や活動の中で機能維持、介護予防に取り組む。

音楽療法やレクリエーション等を通して喜びと生きがいのある生活を支援する。

(2) 虐待に繋がらない環境づくり

ア 虐待防止の取り組み

施設長、虐待防止委員会等による日々の業務点検のほか、「虐待ヒヤリハット」の作成・検証、月間強化目標の設定・振り返り、虐待グレーゾーン検討会、虐待防止チェックシート、虐待防止に関する研修会等を積極的に行い、権利擁護、人権意識の醸成に努める。

イ 職員のメンタルヘルスに関する取り組み

ストレスチェックを実施し、結果について産業医と連携しながら悩みを抱えた職員に寄り添い改善を図る。

また、メンタルヘルスやアンガーマネジメントに関する研修等に参加・情報共有し、職場内でのラインケアによる働きやすい職場づくりに努める。

(3) 地域との交流・地域貢献の推進

- ア 地域に出かけての清掃活動や地域行事を通して利用者の社会参加を促進する。また、広報誌による地域への情報発信や交流の機会をとおして、障がい者に対する理解や啓発を進める。
- イ 小中学校との交流、短期大学・専門学校などの実習を積極的に受入れ、障がいへの理解を推進するための教育、啓発の充実に努める。また、養護学校や特別支援学級等との交流や体験の受入れ、施設機能の提供など、地域における社会資源としての役割を実践する。

(4) 経営改善・基盤の確立

- ア 感染症予防、リスクマネジメントの徹底を図り、利用者が健康で安全な生活を送ることが出来る環境づくりに努め、病気や事故による長期入院を予防する。
- イ 特別支援学校、病院、障がい福祉サービス事業者等と連携をとりながら、入所・通所の希望者の確保とスムーズな入退所に努める。

[目標稼働率：生活介護 94%、施設入所 96%、短期入所 30%]